

令和4年度学校評価関係者評価票

学校名

兵庫県立姫路南高等学校

本年度の学校経営方針

- ①「時習窮理」「自主特立」「信義執禮」の校訓のもと、文武両道を体現することで考える力を高め、身体や感性を大切にしながら意欲的によりよい社会の創り手となる人間を育成する。
② 人権尊重・個性尊重を基礎として、学校・家庭・地域の連携を深め、信頼される学校づくりを推進する。

総合的な自己評価

今年度も、新型コロナウイルス感染症により、様々な制約を受ける中で教育活動を展開する年となった。しかしながら昨年度の結果を踏まえ、感染防止策を講じながら、知恵を出し、創意と工夫で、文化祭や体育大会を実施することができた。また、保健部を中心として、手指消毒、換気などを徹底しており、現時点で学級閉鎖や学校閉鎖など学校運営ができていない状況である。しかしながら、数値が高いとは言えない項目もあり、その項目については分析する必要がある。「国際的視野を持った生徒の育成に努める」とについては、交流事業の実施が難しいが、その他の部分で工夫をして行っておりある程度の成果はあったと考えており、今後の交流事業の復活に期待している。また、コロナ禍において途絶えていた地域貢献・地域交流については発展的統合後のことも考え、今後の再活性化が急務であると考える。

総合的な学校関係者評価

学力向上、学力保証は当然のことであり、社会に通じるスキルを身に付けることは最も望まれることである。一方、社会事象の中で、社会規範に合致しない考え方を持った若者が多くなっていることは残念なことである。即ち、人間性の向上を高校時代に身に付けることも重要なことである。グローバルな社会の中で生きていくには、基礎学力の定着と豊かな心を持った人間づくりが必要である。
・地域の人から高校生に対する苦情を聞かないことが有難い。
・高校生は卒業すると、選挙権もあり、ある意味大人としての自覚が求められます。また、一人暮らしを始める人も多くいると思います。最近SNSやスマホで、言葉たくみに色々な手口でブラックバイトや犯罪に巻き込まれてしまう事例が多く見受けられます。巻き込まれように気をつける事の指導等をしっかりお願いしたいと思います。
・今年度も、引き続き、学校経営は新型コロナウイルスによる病的な環境変化に対して多様な制約が重くのしかかり、特異な対応をなくてはならない年だったと思います。その中で適切な感染予防で、学校閉鎖や学級閉鎖も無く、文化祭や体育大会を無事実施されたことは大変素晴らしい事です。私としては、生徒たちの大切な行事に同窓会として参加出来なかったことが、大変残念です。今年こそ、普段通りに学校行事が無事運行されることを願っています。
・今まで、大切に交流を続けていた、ヴァンッショ高校との交流がうまく行っていない事は非常に問題だと思います。環境の条件が悪いから、早急に関係を元に戻すようして下さい。場合によっては、担当者を派遣すべきです。
・いじめに関しては保護者と生徒の評価(平均)は昨年度と全く同じですが、職員今年の9月と12月の平均値に関しては、昨年度と比べ大きく評価が上がっています。つまり、対策を講じた結果とされる側面が大きいと考えています。これは、大変良い事です。
・本校を選んで入学して良かったと思っていない生徒数が昨年度より増加しているのは、新型コロナでいい思い出が少なかったためか、他の原因があるのかをより調べて下さい。本校を選んで入学して良かったと思わないような卒業生を無くす努力をしてください。
・コロナ3年目の中、制限された所もあったと存じますが徐々に再開されているイベント等もあり何とか生徒のみなさんに学びの機会を与えたいという先生の皆様の努力がうかがえます。これから学校の発展的統合等生徒も不安を感じるところもあると思いますが、寄り添い貴重な高校生活が送れるよう引き続き頑張ってください。

Table with columns for evaluation items, scores, and comments. Includes sections for 'School Relationship Evaluation' and 'Self-Evaluation Results and Improvement Plans'. Rows cover various aspects like student well-being, learning progress, and school activities.